

T I C A D 7 全体会合 3 「官民ビジネス対話」
長坂委員長の閉会挨拶メモ

日時：2019年8月29日(木) 8:45～11:30
場所：パシフィコ横浜 国立大ホール

1. 経団連サブサハラ地域委員長の長坂でございます。
アフリカ首脳の皆様はじめ、日・アフリカの官民の関係者には、本日の議論に熱心にご参画いただき大変実りある機会となりましたことをお喜び申し上げます。
アフリカ首脳の皆様はじめ、日・アフリカの官民の関係者には、本日の議論に熱心にご参画いただき大変実りある機会となりましたことをお喜び申し上げます。
2. 本日の議論では、インフラ整備、資源・エネルギー開発、農業、ヘルスケア、スタートアップなど様々な観点から、アフリカの一層の発展に向けた期待や取り組みなどが紹介されました。とりわけ、これらの議論に共通するテーマとして2つの課題が明確になったと思います。
3. まず一つ目は、道路、鉄道、港湾、電力、住宅、

通信、上下水道等のインフラ整備、資源・エネルギー開発に関わるハード面の課題です。インフラの整備は、事業活動の円滑化とともに、多くのアフリカの皆様はもちろん、現地駐在員の生活環境の向上にもつながり、投資拡大を促進する大きな原動力となります。本日、日本の民間企業から発表がありましたとおり、経済性、安全性、リスクに対する強靱性、現地雇用の創出、社会・環境への配慮等を踏まえた「質の高いインフラ」整備は、わが国が提供できる強みであると言えます。アフリカ各国の皆様には、ライフ・サイクル・コストから見た経済性等の「質の高さ」を是非評価していただき、各国のニーズを踏まえた必要なインフラを現地の方々とともに創り上げて参りたいと存じます。

4. 二つ目は、法制度や行政手続等の整備といったソフト面の課題です。政府機構のガバナンスの強化と

ともに、外資規制やローカルコンテンツ要求などの撤廃・緩和、税関や入国、就労許可等の各種許認可等の公正・透明性・予見可能性の確保と簡素・迅速化などを是非積極的に推進していただきたいと存じます。

5. こうしたハード面とソフト面の課題を一つずつ解決していくためには、冒頭、小澤委員長からもお話がありましたビジネス環境についての協議の枠組みなどを通じて、日本とアフリカの官民双方が継続的に議論し、具体的なアクション・プランを立案・実施していくことが極めて有用であると考えます。

6. アフリカは、21世紀のフロンティアと言われています。そして TICAD の役割は、大きな潜在力を秘めるアフリカをフロンティアから世界の一大成長センターに押し上げることです。アフリカ各国から、

日本の民間企業が果たす役割への期待が高まっている今こそ、日本とアフリカの官民、そして国際機関が一丸となって、日本企業によるアフリカビジネス拡大と多様化の環境整備を進めていくことが重要です。

7. また、現在経団連では、イノベーションを通じて国連の持続的開発目標（SDGs）を達成する取り組みを進めております。本日、皆様のお手元にも、こうした日本企業の取組みをまとめた資料「INNOVATION FOR SDGs - Road to African Development -」をご用意いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

8. 私ども日本企業は、今後もこうした事業活動を通じて、日本の強みを活かし、アフリカの持続的発展に貢献して参る所存です。アフリカ各国の首脳の皆

様には、引き続き日本企業へのご支援、ご協力をお願い申しあげ、本日の議論の総括としたいと思います。ありがとうございました。

以 上